

# SOMPOデータ・プラットフォーム

- グループにおけるビッグデータへの取り組み -

SOMPOホールディングス株式会社 チーフ・データサイエンティスト 中林 紀彦



# 保険のその先へ、挑む ~ 大いなるピボット ~



## デジタル戦略が中期経営計画の主軸の1つ

#### Digital Vision

来たるべき「Digital Disruption」の時代に対して、 自らが積極的にデジタルトランスフォーメーションを仕掛け、 デジタル対応力をコアコンピタンスとした「真のサービス産業」 のグループとなることを目指します。

#### ビジネスモデル の進化

環境変化に 挑戦し続ける文化

#### デジタル戦略

顧客接点強化 品質向上 事業間の連携による トータルサポート

> 保険を超える サービスの拡充

健全性を伴った 成長機会の実現

規律ある成長投資

#### 成長基盤の構築

- 国内損保事業の収支改善
- 国内損保事業の着実な成長
- 海外M&Aによる拡大と PMIの経験値向上
- 介護事業の事業基盤獲得

前中期経営計画

#### 各事業の優位性の 確立・強化

各事業の優位性を高めて着実に成長

#### 新中期経営計画



## Silicon Valleyスタートアップのスピードと柔軟性

### SOMPO Digital Labの誕生



CDO (Chief Digital Officer)

シリコンバレーでの豊富な 経験を持つ人材を招聘

#### シニアアドバイザー

ビッグデータの世界的権威である トーマス・H・ダベンポート氏が就任

新しい ビジネス モデル

#### デジタルネイティブ向けマーケティング

デジタル活用の新商品・サービス開発など

#### 顧客接点の変革

スマホアプリ(ポータブルスマイリングロード) ウェアラブル端末(Fitbit社)の活用など、 ビジネスモデル の進化

新たな事業領域の創造など

SOMPO デジタルラボ シリコンバレー



#### 既存事業

#### 業務効率化の進展

コールセンター等で人工知能(AI)導入等

2016年~2020年

デジタル戦略部(東京)



SOMPO Digital Lab Tokyo





# SOMPOデータ・プラットフォーム ~事業戦略にもとづくデータ戦略~



## ビッグデータの種類に応じたビジネスへの適用

## 事業実装・実用性レベル

2017~2018

2019~

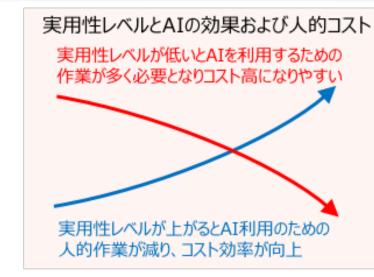


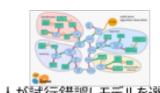


低



画像解析





人が試行錯誤しモデルを選択



2017

2017

2019~

自動化へ向かう



1枚の画像を分類



対象領域の特定と分類 大きさの推定





2017~2018

マイクの近くでハッキリ話す お客様の発話を復唱



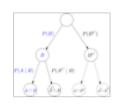
マイクから離れた複数人での会話 話者を分離して発言内容を分類



完全テキスト化



自然言語



決定木による分岐 キーワード検索



限られたシーン 単一文の理解 精度の高いQA



長文の理解 文章の要約



## SOMPOデータ・プラットフォーム構築

#### **最先端のプラットフォーム**で、世界に伍していく

データ サイエンティスト ● データの種類(自然言語、画像)・分析対象(健康、移動)に 精通した精鋭部隊を編成

AI・アルゴリズム

● 未来予測に関するAIに特化し、効率化に関する部分は外部の汎用的なものを活用

データカタログ

● 社内外の利用可能なデータをカタログ化した **巨大な仮想データベース**を構築

データソース

● 社内のみならず、他企業とのアライアンス、オープンデータまでを網羅したデータセットを用意し価値あるデータを囲い込む



## プラットフォームの基本方針

**最先端のアーキテクチャ**を採用し競争力を持つ

( ) 柔軟性とスピードを優先した**内製化** 

技術要素を分割し**Pluggable(脱着可能)**にする



## ビッグデータ・AIの実験が自由に出来る環境

PoC実験環境(Digital Sandbox)は、デジタル戦略部で実施するPoCで、新技術やアルゴリズムの開発・検証を行う環境として使用

<Stage1> Research/ Idea

デジタルラボ

デジタルラボで市場調査と 業務への活用案を検討し ます。

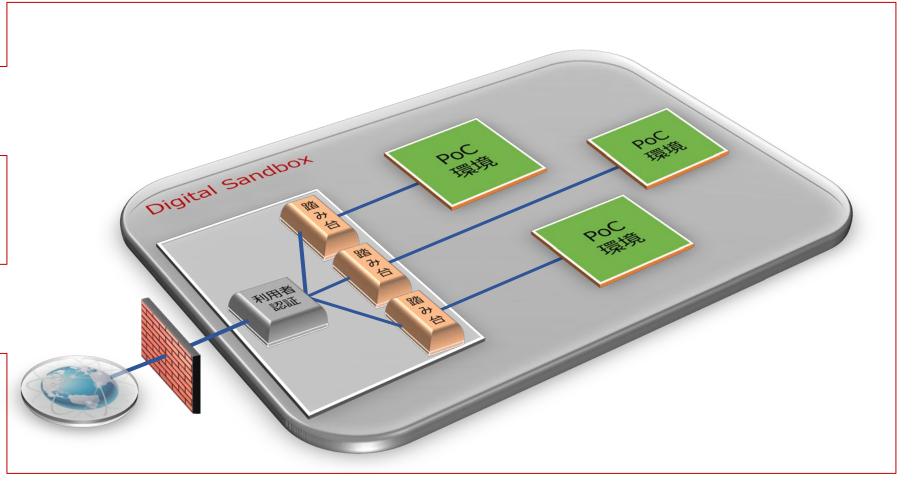
<Stage2> Planning デジタルラボとオーナー部で要件定義とトライアルの計画立案を行い、R&D審査で承認を得ます。

<Stage3> Trial

システムを構築し、実際の 利用状況の中で有効性 を検証します。

品 ー 本開発

各事業のIT部門の承認 のもと、技術移転を行い 別環境で本開発を行う。



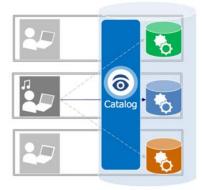


## データカタログによる仮想統合データベース構築

#### 整備すべきデータと、外部連携で囲い込むデータを洗い出す

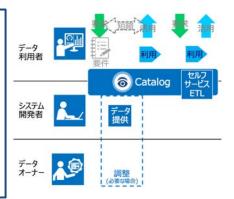
## これまで困難だった保有データの可 視化と有効活用

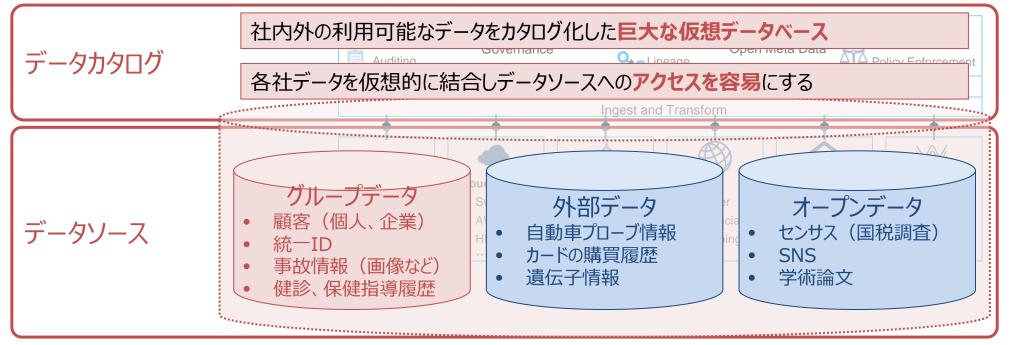
- カタログ情報による組織横断的なデータの一覧性が提供されるため、 他部門のデータの利用が容易になる
- カタログ情報を検索する事で、データ利用者は目的に合った最適な データを自分で見つけて利用する 事ができる



#### データ活用のスピードと柔軟性 が向上

- 新規データは、基本的に加工せずに取り込まれるため、 要求から利用開始までの時間が短縮される
- カタログ上のメタデータを利用 し、必要なデータの取捨選択 ができる

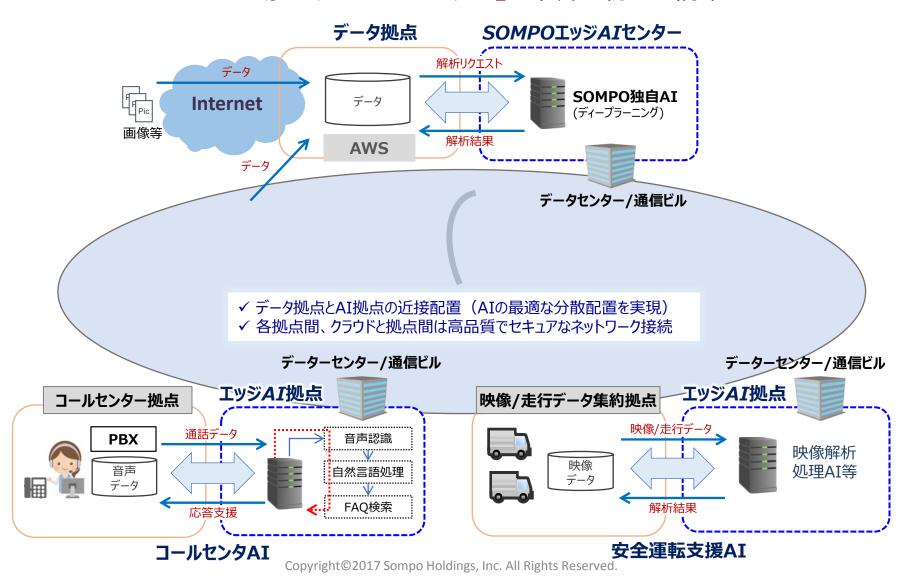






## グループ専用のAI工場を構築

グループ各社で収集したデータをリアルタイムに解析し、瞬時に経営に活かすための A I 工場「エッジ A I センター」を業界で初めて構築





#### 最新の深層学習を応用したAIを実装

人工知能(AI)を活用して、タブレット端末のカメラ機能で撮影した自動車保険証券および車 検証の内容を自動で読み取り、読み取った内容を保険料計算システムへ転送することで、お見積り からご契約手続きまでシームレスかつペーパーレスで完了できるアプリ『カシャらく見積り』を開発







## SAIS®N もっと安心して、もっと楽しくクルマを運転できる

#### IoTデバイスを活用した**新サービス「つながるボタン」**

運転中は、**運転特性を計測**しドライ ブレポートを提供することで安全運転 をサポート

事故・トラブル時に「つながるボタン」を 押すことで、位置・契約情報が連携 され、必要なサポートをスムーズに受 けることが可能に

事故時の衝撃を感知した場合、「A LSOK事故現場安心サポート」な どトラブルの現場で必要となるサービ スを提供





## 必要となる人材を育成



## データは素材、AIは道具に過ぎない

料理 = 成果





調理器具 = 人工知能



素材 = ビッグデータ, IoT





#### 必要となる人材像

#### ビジネスとデータサイエンスの両方を理解する人材

- **ビジネスの理解**がデータの理解につながる
- 営業、マーケティング、事業戦略などビジネスの経験者
- データの"手触り感"
- この数字がどういうオペレーションで生まれたのか?
- この意思決定には、データの精度は50%で十分
- 最新**分析技術**や**テクノロジー**の理解
- 医師免許 + Deep Learning
- A級ライセンス + Deep Learning



## 必要な人材を自社で育成して採用

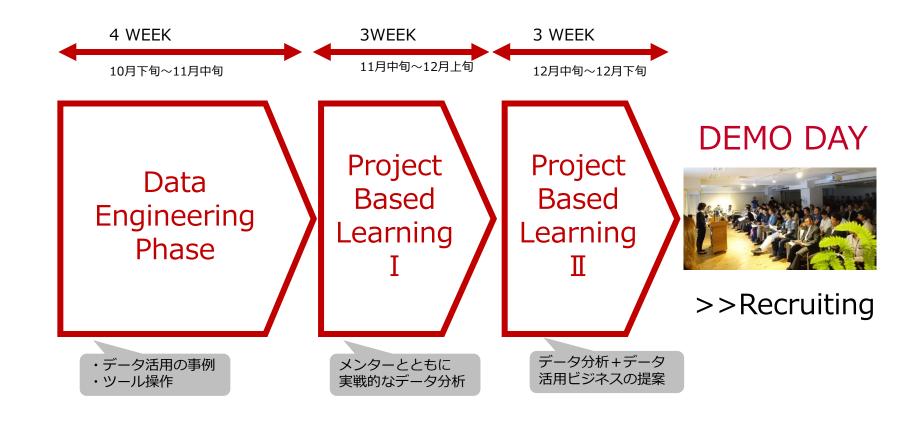
#### ビジネスを理解する人材へのデータサイエンス教育

- 2017年4月から7月に、第1回データサイエンティスト特別養成コース「Data Science BOOTCAMP」を開講しました。今後、年2回のペースで実施していき ます。
- 約3か月間の集中育成プログラムでは、ディープラーニングなどAIに必須のコンテンツを準備する予定であるほか、一流メンターの助言のもと、SOMPOホールディングスが実際に保有する自動車の走行データや健康関連データなどのビッグデータを利用し、実践的なデータ分析からデータ活用ビジネスの企画 提案まで行います。



#### **Data Science BOOTCAMPの概要**

#### 春(4月~7月)と秋(10月~12月)の2回開催





## 受講風景





#### 第1回 BOOTCAMPの成果

### "3つの果実"を獲得

- SOMPOグループのデジタル戦略に興味を持ち、入社の意向を持つ人材の獲得
- バイタルデータや走行データを活用した、新ビジネスの企画 を立案する実践演習による新たな**"事業アイデア"を創造**
- 卒業生との**"弱いつながり"**により、他社の知見を探し出し自 社の知見と組み合わせることで新しい事業の夕ネを生み出す



# まとめ



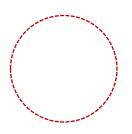
## まとめ

AI・IoT・ビッグデータは素材や道具にすぎない

事業の戦略にもとづいたデータ戦略が大切

当グループの取り組みは日本企業の実験台

#### でも、一番大事なことは?



# ビッグデータはこの会社の何に 貢献しているのか?



# ありがとうございました